

様式第2号（第7条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称		第2回川島町地域公共交通会議
開 催 日 時		令和7年3月27日（木）午前10時から11時10分
開 催 場 所		川島町役場 1階 多目的室
議 題		(1) 高校生を応援！電子マネー配布事業について (2) バス待ちスポット登録状況について (3) かわみんタクシー事業者追加状況について (4) かわみんタクシー実績（乗り合わせ推進状況）について (5) かわみんタクシー制度の見直しについて (6) 令和6年度、令和7年度の公共交通施策について (7) その他
公開・非公開の別		公 開（傍聴者2名） ・ 非公開 ・ 一部非公開
非 公 開 の 理 由 (非公開の場合のみ)		
出席者	委 員	小宮委員、荒井（謙）委員、谷詔委員、藤田委員、荒井（理）委員、高木委員、島根委員（代理：古川氏）、大竹委員、石島委員、喜多川委員、岩下委員、久保田委員、谷島委員、坂本委員
	事務局職員	政策推進課 藤間課長、松本主幹、木村主査、笛木主事
配 布 資 料		会議次第、資料1～8-2
審議会等の内容・概要		
1 開 会 2 会長あいさつ 3 議 事 （事務局より議事に入る前に、川島町審議会等の会議の公開に関する要綱に基づき、会議は原則公開であることを説明する。なお、会議公開は議事より行うこととし、会議録を公開するが、発言委員名は記載しない旨で委員より了承を得る。） 会 長：議事に入る前に、議事録署名委員を指名する。荒井（謙）委員、谷詔委員に お願いする。 （1）高校生を応援！電子マネー配布事業について（事務局にて資料3-1、3-2を用いて説明。）		

委員：「かわみんタクシー」や「学生いちねん定期券」については、アンケートと一緒に周知をしているとのことだが、町内を運行するバスについての周知はいかがか。

事務局：現在実施していないため、来年度事業実施の際にはバス路線図等の周知も検討する。

委員：「学生いちねん定期券」については、アンケートで周知を図っているものの、半分以上の方が知らないというのは残念な結果である。利用している方がどれだけいるのか、把握できると良いのでは。また、東武バスにおかれては、「学生いちねん定期券」販売事業について、どのように評価しているかお聞かせいただきたい。

委員：評判の良い事業である。アンケート結果を踏まえ、町と連携し、更なる周知を図りたい。

会長：電子マネー配布事業について、suicaの交換率が2割となっている。交通支援はsuicaが主であると思うが、町はどのように評価しているか。

事務局：本事業は交通に限らず、高校生の全体的な支援を目的とした事業であり、物価高を踏まえた生活援助も考えている。来年度以降もニーズを踏まえ、検討してまいりたい。

(2) バス待ちスポット登録状況について(事務局にて資料4を用いて説明。)

会長：候補地として選定された箇所は、先方から申し出があったものか、それとも町が選定したものか。

事務局：町が候補地として選定したものである。

(3) かわみんタクシー事業者追加状況について(事務局にて資料5を用いて説明。)

(4) かわみんタクシー実績(乗り合わせ推進状況)について(事務局にて資料6を用いて説明。)

(5) かわみんタクシー制度の見直しについて(事務局にて資料7-1、7-2を用いて説明。)

会長：かわみんタクシー制度は、基本的に町内間の移動及び、町外については、路線バスに接続するよう促すことで、路線バスへの影響がないようにしてきた。直接病院に行きたいという声は理解できるが、路線バスへの影響が心配である。

今回の追加提案のあった病院については、その点は考慮されているか。

事務局：新たに追加する病院のうち、三井病院、赤心堂病院、東松山医師会病院は最寄りのバス停から徒歩圏内であるが、路線バスへの影響は大きくないものと考えている。

委員：役場からの距離が 10km 圏内の距離となると、メーター料金はどの程度が想定されるか。利用者のお得感によっても、バスを選択するかタクシーを選択するかが分かれると考えられる。

事務局：概ね 10 km 程度でメーター 5,000 円、個人負担 3,000 円が目安である。

委員：今回追加する病院は、駅からの送迎バス等はあるのか。

事務局：埼玉県中央病院のみ桶川駅からの送迎バスがあるが、その他の病院はない。

会長：異論がなければ、6 病院の追加について承認とする。

（6）令和 6 年度、令和 7 年度の公共交通施策について（事務局にて資料 8-1、8-2 を用いて説明。）

委員：公共交通プロモーション動画について、運転手の担い手確保の観点から、バス事業者とも連携して内容に盛り込めると良いのでは。

事務局：企画の参考とさせていただく。

委員：MaaS やスマートモビリティの推進にあたり、スマホで予約や決済するという流れが世の流れとなっており、利用者のデジタルに対する認知が重要である。住民、特に高齢者のスマホ保有率は把握しているか。

事務局：町民全体で 8 割、9 割程度の方がスマホを保有していることが他アンケートで明らかになっている。年代分析はできていないが、スマホを活用した施策についても検討してまいりたい。

また、当町で実施しているスマホ教室に参加される高齢者の多くは、写真や動画を見たいという使い方が多く、電子決済については課題があると感じている。

委員：学生いちねん定期券について、周知が通年となっているが、申込期間が夏頃までであったと認識している。当該年度向けと翌年度向けで分けて周知を図ったほうがよいだろう。また、電子マネー配布事業について、アンケートの回収率向上のため、アンケート回答者にのみ配布するなどの方法は可能か。

事務局：学生いちねん定期券の周知については、事業スケジュールを再検討する。電子マネー配布事業については、事務局でも検討したが、現在の事業者ではできないとの回答であった。他の事業者で実施できるかも踏まえ、検討する。

委員：スマートモビリティの一種として、特定小型原動機付自転車（電動キックボード）が普及している。町内移動に適していると判断された場合には導入補助等も検討しても良いのでは。また、かわみんタクシー制度の見直しにおいても、配車アプリや QR コード決済等、利便性が高まるよう調査研究していただきたい。

事務局：特定小型原動機付自転車については、他施策との連動も踏まえた調査研究を実施したい。かわみんタクシーにおいても、理想はスマホ一つで予約から決済

まで完結することだが、事業者と調整し、可能性を検討してまいりたい。

会 長：高校生にかわみんタクシーを使ってもらうというのが制度当初からの課題である。アンケートを見ても多くの人が親の送迎であり、乗り合わせによるバス接続等、かわみんタクシーが補完できると考えている。

事務局：高校生の利用が進まない課題の一つに利用の時間帯が挙げられる。この点については、事業者とも調整し、検討を進めてまいりたい。また、そもそもかわみんタクシーを知らないという高校生も多いため、まずは一度使ってもらう機会を設けるなど、周知を図っていきたいと考えている。

(7) その他

事務局：任期は来年度末となっており、引き続きよろしくお願ひしたい。人事異動等の対応については、事務局から照会させていただく。

4 閉 会

署 名	荒井 謙二
	谷 龍 亨